一般質問

（2～5ページ上段まで）

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は22人36件の一般質問がありました。

（他はその他の質問）

雑田堀親水路第二期整備 より自然に近づけるため コンクリートを外した水路にできないか

関係者と整備方法等を検討していきたい

林　辰男議員　雑田堀親水路第一期整備では、コンクリート水路をそのまま使用したが、第二期整備では、より自然に近づけるため、コンクリートを外した水路にできないか。また、魚などが1年を通して生きられるよう、この水路にため池をつくることも必要と思うがどうか。

水と緑事業本部長　第二期整備については、地元の方々から、雑田堀に沿って緑道を設け、水路からの水を取り入れたビオトープをつくる等の意見をいただいている。今後は、水路機能を確保した中で、身近で自然に親しめる場として整備するため、関係者と整備方法等を検討していきたい。

議員　サントリー西側の下河原緑道拡幅改修工事の際、通年通水ができるような流れを設け、その水を雑田堀まで延長できないか。

水と緑事業本部長　新たな水源の確保を検討する必要があるので、関係機関と協議し、検討していきたい。

▲雑田堀親水路（第一期整備）

観光資源を活かした商業振興 今後の市の考えは

イベントに工夫を凝らし にぎわいのあるまちづくりに努めたい

村木　茂議員　本市を取り巻く都市間競争は、ますます激しくなってきている。

本市には国衙跡等、多くの観光資源があるが、それらを活用し、商業振興とひとつの輪となって、魅力あるまちづくり等を推進することが、本市の未来につながると考える。

そこで、今後の商業振興に対する市の考え方を聞きたい。

市民生活部長　観光振興の充実が本市の商業振興に大きく寄与すると認識しており、従来のイベントに工夫を凝らし、より多くの人々が集い、にぎやかなまちづくりができるようにしたい。

議員　武蔵府中商工会議所と行政は、どのようにすみ分けをし、施策を進めるのか。

市民生活部長　同会議所は、地域経済の活性化を担う重要な機関と認識しており、今後、更に連携を深め、地元商店街等の支援をしていきたい。

他博物館内まつりコーナー及び国衙跡地開設において今後の管理、運営について

美好町２丁目の都所有地 今後の利用計画は

保健所の仮設庁舎用地として予定されている

小野寺　淳議員　美好町2丁目地区は、公営住宅の多い地域であり、区画整理が行われた町並みであるが、都所有地が残されている状況にある。

そこで、同地区の都所有地の利用は、地域の活性化につながるよう進めていくべきと思うが、現状どのような利用計画になっているか聞きたい。

都市整備部長　当該用地は、府中合同庁舎の建替えに伴う保健所の仮設庁舎用地として予定されている。

議員　美好町を通る市道5―15号の北側については、美好町通り交差点近くに合流しているため危険と聞くが、今後の在り方をどのように考えているのか。

都市整備部長　幼児公園を含めた敷地の関係など多くの課題があり、また、当該地周辺を含めた都の利用計画や周辺での建替え相談等があることから、同市道の利用状況の特性等を含めて総合的に検討していきたい。

文化センターでの窓口対応 非正規職員へどう指導しているか

施設長等を通じ指導を行っている

村井　浩議員　市内の文化センターで午後5時15分頃、人を待っていると、非正規職員に「ここは5時までです」と言われ、ソファに座ることを拒否された。その前に、あいさつが先ではないか。もてなしの心はどうしたか。

そこで、最も市民と接する文化センターで、非正規職員に対して、市民と直接に接する際の教育をどう指導しているのか。また、これらは、市に温情主義があるから生じるのではと思うが市の考えは。

市民生活部長　非正規職員へは施設長等を通じ指導しているが、真心サービスに欠けた対応が起きたことに対しおわびするとともに、今後、更なる指導等を徹底していきたい。

副市長　市役所内に温情主義は、決してないと考える。

他医師の往診等、市民の自宅診療中に関連してさまざまな問題について、調査をしていただけないか

●府中市と榊原記念病院と基本協定の確認について

四谷、日新町及び住吉町３丁目 都市計画決定時の道路計画 その実現状況は

土地区画整理事業時に検討となるので実施状況を示せる状況にない

市川　一徳議員　四谷、日新町及び住吉町3丁目地区が、区画整理区域として都市計画決定されて43年が経過した。

当時の都市計画決定手続きの中で、道路計画を図示した市街化予想図を作成したと聞くが、その道路計画の実現状況は。

都市整備部長　同予想図は、土地区画整理事業の都市計画手続きの中で参考図書として作成したものであり、事業実施に当たっては改めて道路線形を検討することになるので、実施状況を示せる状況にない。

議員　西部地区の幹線道路の四谷通り及び東大山道は、一部で歩道が設置されておらず、危険なため、早急に歩道設置すべきと思うがどうか。

市長　都は、四谷通りの南側に都市計画道路3・4・3号を平成27年度までに優先整備するとしており、車両の通行体系の変化が予想されるので、それにふさわしい改善が課題と考える。今後も関係機関と協議し、安全な交通環境の整備に努めていく。

▲四谷通り

60歳からの市民スポーツ大会 実施の考えは

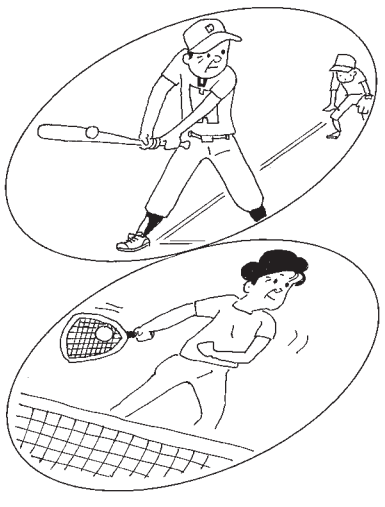
関係団体等と協議し実施に向け検討していく

手塚　歳久議員　本市では、多くの市民がスポーツを楽しんでいる。

そこで、既に高齢になられた方やこれから高齢に近づく方々が新たな目標などを見出すとともに、更なる健康増進を図るため、主に60歳以上の市民を対象としたスポーツ大会を実施してはどうかと思うが、その際の課題と対策について聞きたい。

市長　高齢者が住みなれた地域で、いつまでも健康で生きがいをもって生活できる環境づくりのため、スポーツ大会は意義深いものがあると思う。

課題は、福祉等と連携した行政の横断的なスポーツ支援体制の構築やけが防止等の対策が必要なことなどである。

今後、関係団体等と協議を進めるとともに、他自治体の取組状況を調査するなど、実施に向け検討していきたい。

他市民聖苑について●狭隘道路の拡幅について